

NY マーケットレポート (2015 年 4 月 6 日)

NY 市場では、序盤に発表された米経済指標がまちまちの結果となったことや、ダドリーNY 連銀総裁が、利上げに踏み切った後も金利引き上げペースは比較的緩やかになるとの見方を示したことを受けて、序盤のドルは主要通貨に対してやや軟調な動きとなった。その後は、新規材料に乏しい中下落して始まった米株価が、米経済の先行き期待を背景に大きく反発する動きとなったことを受けて、投資家のリスク志向も強まり、安全資産とされる円が主要通貨に対して軟調な動きとなった。一方、ギリシャ財務省が、ギリシャ財務相とラガルド IMF 専務理事が生産的な協議を行ったと発表したことから、序盤のユーロは主要通貨に対して堅調な動きとなる場面もあった。しかし、終盤にかけては一段の下げとなるなど、軟調な動きとなった。

2015/4/6 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	118.99	119.17	118.81
EUR/JPY	130.70	130.91	130.50
GBP/JPY	177.70	177.77	177.26
AUD/JPY	90.95	91.00	90.65
EUR/USD	1.0983	1.1018	1.0968

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	119.12	118.98
EUR/JPY	130.93	130.66
GBP/JPY	178.02	177.68
AUD/JPY	90.97	90.79
EUR/USD	1.1003	1.0977

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19397.98	-37.10
ハンセン指数	休 場	
上海総合	休 場	
韓国総合指数	2046.43	+1.01
豪ASX200	5898.58	+37.83
インドSENSEX指数	28504.46	+244.32
シンガポールST指数	3452.91	-0.84

*香港市場はChing Ming Festivalのため休場

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	休 場	
仏CAC40	休 場	
独DAX	休 場	
ST欧州600	休 場	
西IBX35指数	休 場	
伊FTSE MIB指数	休 場	
南ア 全株指数	休 場	

*欧州市場はEaster Monday、南アはFamily Dayのため休場

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	119.47	119.69	118.93
EUR/JPY	130.70	131.29	130.42
GBP/JPY	177.87	178.30	177.67
AUD/JPY	90.81	91.20	90.69
NZD/JPY	90.25	90.64	89.97
EUR/USD	1.0942	1.1036	1.0911
AUD/USD	0.7602	0.7668	0.7580

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17880.85	+117.61
S&P500	2080.62	+13.67
NASDAQ	4917.32	+30.38
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	15100.65	+74.03
ブラ ボルサ指数	44850.06	+647.12
メキシコ ボバスバ指数	53737.26	+614.24

4/7 経済指標スケジュール

08:30 【豪】3月AiGサービス業指数
 10:30 【豪】3月ANZ求人広告件数
 10:30 【豪】2月小売売上高
 13:30 【豪】政策金利発表
 16:30 【スウェーデン】2月鉱工業生産
 16:50 ~ 17:30
 【仏】【独】【欧】【英】3月非製造業PMI
 17:30 【欧】4月センチックス投資家信頼感
 17:30 【欧】2月生産者物価指数
 23:00 【米】4月IBD/TIPP景気楽観指数
 23:00 【米】2月JOLT労働調査[求人件数]
 04:00 【米】2月消費者信用残高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1218.60	+17.70
NY 原油	52.14	+3.00
CMEコーン	385.00	-1.50
CBOT 大豆	978.50	-7.50

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.50%	0.48%
3年債	0.81%	0.78%
5年債	1.30%	1.25%
7年債	1.65%	1.60%
10年債	1.90%	1.84%
30年債	2.56%	2.49%

4/7 主要会議・講演・その他予定

- ・ミネアポリス連銀総裁 講演
- ・米3年債入札

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 119.08 ユーロ/円 130.85 ユーロ/ドル 1.0988

本日の欧州株式・債券市場は Easter Monday 祝日のため休場。

21:35

《 要人発言 》

ダドリー・NY 連銀総裁

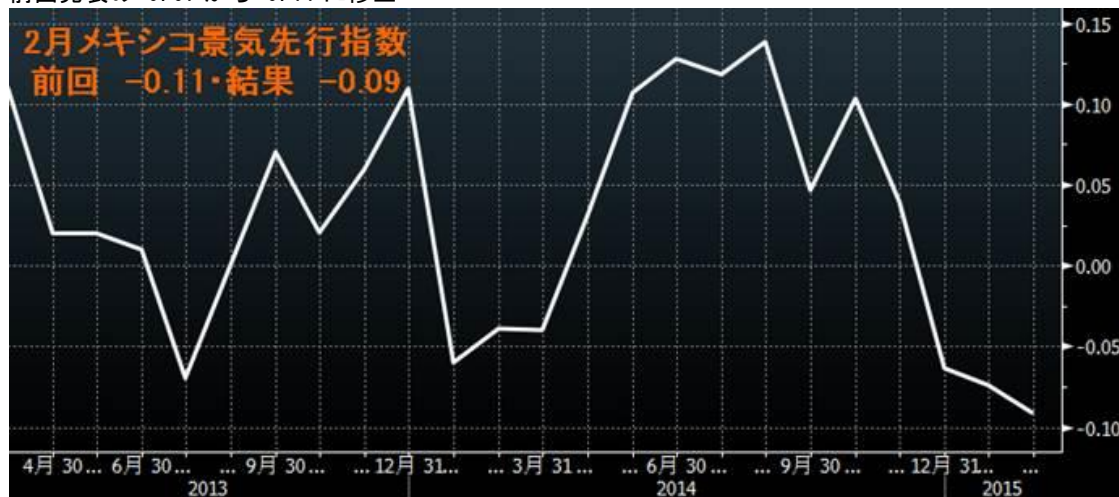
- ・「利上げ開始時期は経済動向次第」
- ・「利上げ開始後の軌道は比較的低い」
- ・「ドルの大幅上昇は米国の貿易を弱める」
- ・「2015 年下半期までに失業率は 5% に接近へ」
- ・「予想外の下振れは主に一時的な要因が影響」

22:00

《 経済指標の結果 》

2 月メキシコ景気先行指数 -0.09 (前回 -0.11)

前回発表の-0.07 から-0.11 に修正



22:15

《 要人発言 》

ダドリー・NY 連銀総裁

- ・「欧州と日本の見通しは改善しつつある」

22:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17663.82	-99.42
ナスダック	4857.22	-29.72

(出所:SBILM)

22 : 45

《 経済指標の結果 》

3月マークイット米国サービス業PMI 59.2 (予想 58.6・前回 58.6)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 00

《 経済指標の結果 》

3月米ISM非製造業景況指数 56.5 (予想 56.5・前回 56.9)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《 ISM 非製造業景況指数 》

3月・・2月・・1月・・12月・・11月・・10月
 総合指数・・・56.5・・56.9・・56.7・・56.5・・58.8・・56.9
 景況指数・・・57.5・・59.4・・61.5・・58.6・・63.4・・60.5
 仕入価格・・・52.4・・49.7・・45.5・・49.8・・55.0・・52.8
 新規受注・・・57.8・・56.7・・59.5・・59.2・・61.0・・59.3
 雇用者数・・・56.6・・56.4・・51.6・・55.7・・56.3・・58.3

23 : 00

《 経済指標の結果 》

3 月カナダ Ivey 購買部協会指数 47.9 (予想 51.0・前回 49.7)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 02

《 経済指標の結果 》

3 月米労働市場情勢指数 -0.3 (前回 2.0)

前回発表の 4.0 から 2.0 に修正されています



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《 労働市場情勢指数 (LMCI) 》

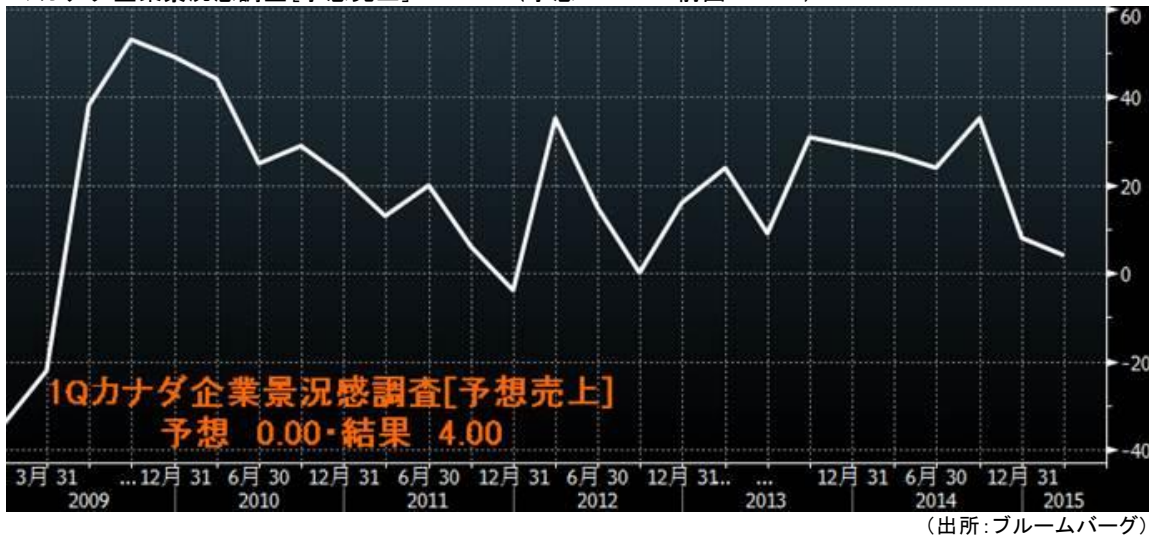
3 月・2 月・1 月・12 月・11 月・10 月・9 月

労働市場情勢指数・・・-0.3・・・2.0・・・4.8・・・7.1・・・6.7・・・5.6・・・4.6

23 : 30

《 経済指標の結果 》

1Q カナダ企業景況感調査[予想売上] 4.00 (予想 0.00・前回 8.00)



《 経済指標のポイント 》

(1) 3月のマークイット米国サービス PMI 改定値は 59.2 となり、速報値の 58.6 から上方修正され、昨年 8 月以来の高水準となった。2 月の確報値は 57.1 からは 2.1 ポイント上昇となった。3 月の雇用指数は 54.0 (2 月確報値は 52.7) と、昨年 6 月以来の高水準、新規受注も昨年 9 月以来の高い水準に上昇した。また、同時発表された 3 月の総合 PMI 改定値は、59.2 と速報値の 58.5 から上方修正され、昨年 8 月以来の高水準となった。2 月の確定値の 57.2 からは 2.0 ポイント上昇となった。

(2) 3月の ISM 非製造業総合指数は、市場予想と一致した 56.5 となり、昨年 12 月以来 3 カ月ぶりの低水準となった。市場予想と一致した。昨年 5 月以来、ドルは主要通貨に対し 20%以上値上がりしているが、3 月の輸出指数は 59.0 (2 月 53.0) と 2013 年 2 月以来の高水準。ドル高になると通常、米国からの輸出品に割高感が出る上、海外での売り上げもドル換算すると目減りする。3 月の雇用指数は 56.6 (56.4) と昨年 10 月以来の高水準になった。一方、景気指数は 57.5 と (59.4) となり、2014 年 3 月以来 1 年ぶりの低水準に落ち込んだ。

(3) 3月の労働市場情勢指数は -0.3 ポイントとなり、2 月は 2.0 ポイントから低下した。なお、2 月は当初の 4.0 から下方修正されている。同指数は 19 種類の統計を基に算出され、失業率と民間部門の雇用者に重点が置かれており、労働参加率や賃金、雇用・解雇なども考慮される。そして、毎月の雇用統計発表後の最初の営業日に発表される。

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17894.30 (+131.06)、S&P500 2081.79 (+14.83) ナスダック 4915.28 (+28.34)

① トルコ中銀総裁は、慎重な金融政策と堅実なマクロ経済・財政政策が物価の動向に好ましい影響をもたらしているとの見解を明らかにした。中銀のウェブサイトで公表された説明資料によると、総裁は国際的に市場が不透明なことや食料価格が上昇していることにより、中銀は慎重な政策を維持することが必要と指摘した。

② 3月のスペインの失業者数は、前月比で -1.3% (60,214 人) の、445 万人となった。最も顕著だったのはサービス部門で -1.7% (4 万 9024 人)、建設では -8847 人、産業では -6893 人となった。3 月としては 2002 年同月以来、失業者の減少幅が最大だった。繁忙期のクリスマスシーズンを終えた今年 1 月、失業者数は昨年 10 月以来の上昇に転じたが、2 月に再び減少した。3 月の失業者数は、前年同月比では -7.2% (34 万 3927 人) の減少だった。社会保障制度の加入者数は 3 月末までに合計 1683 万人となった。これは前月比 +0.96% (16 万 0579 人)、3 月としては過去最大の増加幅となった。

③ギリシャは資金問題の解決策を米国とロシアに求め、働きかけを強化している。ギリシャの国庫が底をつきかけているものの、ユーロ圏から追加資金の承認が得られるのはなお数週間先と見られている。バルファキス財務相は、IMF のラガルド専務理事と会談し、約 4 億 5000 万ユーロ（約 590 億円）の債務を期日通り 9 日に返済する意向をあらためて表明した。同財務相は、シーツ米財務次官と会談する。7 日にはチプラス首相がモスクワを訪問し、食料輸出について協議する。

3 : 45

NY 金は、中心限月が 2 日と比べ 17.70 ドル高の 1 オンス＝1218.60 ドルで取引を終了した。

4 : 45

NY 原油は、中心限月が前日比 3.00 ドル高の 1 バレル＝52.14 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1218.60	+17.70
NY 原油	52.14	+3.00

(出所: SBILM)

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、前週末に発表された 3 月の米雇用統計が市場予想より悪い内容となったことで、FRB は利上げを急がないとの見方が強まり、買い安心感が広がった。終値ベースでは、2 月中旬以来、約 2 カ月ぶりの高値水準となった。



(出所: ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、サウジアラビアがアジア向けの原油販売価格を引き上げたとの報道を受けて買いが先行した。また、イラン核協議が合意したが、対イラン制裁の解除で同国産原油の供給が直ちに増えることはないとの見方も支援材料となった。終値ベースでは、2月中旬以来、約2ヵ月ぶりの高値水準となった。



（出所：ブルームバーグ）

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17880.85	+117.61	17941.71	17646.80
S&P500 種	2080.62	+13.66	2086.99	2056.52
ナスダック	4917.32	+30.38	4929.63	4852.91

（出所：SBILM）

《 米株式市場 》

米株式市場は、前週末に発表された米雇用統計の結果を受けて、利上げ時期が後退するとの見方も出ており、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤軟調な展開で始まり、一時2日と比べ116ドル安まで下落したものの、その後は大きく上昇する動きとなり、178ドル高まで上昇する動きとなった。



（出所：ブルームバーグ）

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	119.47	119.69	118.93
EUR/JPY	130.70	131.29	130.42
GBP/JPY	177.87	178.30	177.67
AUD/JPY	90.81	91.20	90.69
NZD/JPY	90.25	90.64	89.97
EUR/USD	1.0942	1.1036	1.0911
AUD/USD	0.7602	0.7668	0.7580

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、休み明けで新規材料に乏しい中、序盤の全体的に小動きの展開で始まった。そして、下落して始まった米株価が大きく上昇する動きとなったことから、投資家のリスク志向も強まり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ドルは堅調な動きが続いたものの、ユーロが反落したことや、株価が上げ幅を縮小する動きとなったことから、クロス円はやや上値の重い展開が続いた。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。